

アフリカとの相互関連を主題とした北歐パヴィリオン  
 のサテライトである『フィッチャ・パヴィリオン』。そこで、自然  
 農法の先駆者で哲学者の福岡正信の考えに共鳴し、  
 他の参加作家の作品群を紡ぐことを念頭にしたプロ  
 ジェクト。さまざまな文化が共存する社会における、生  
 のエコロジーや共生関係について熟考を試みた

**多文化の種** 音楽家Derek Gripper(南アフリカ)と建築  
 家Lindy Roy(アメリカ/南アフリカ)によるサウンドインス  
 タレーションの題材である、人の手をかけずに肥料や農  
 薬も与えないという自然農法、砂漠の緑化にも用いる  
 粘土団子(seed ball)。アート・コレクティブOPENrestaurant  
 (アメリカ)と食文化研究家Ayhan Aydin(スウェーデン/  
 トルコ)が、161の国・地域からの移民が居住するストック  
 ホルム郊外の多文化地域フィッチャのアイデンティティを  
 反映する料理として、ドルマ(注:中央アジアから北アフリ  
 カに渡って食される米、野菜、ハーブを葡萄の葉で包ん  
 だ料理)のレシピを制作。

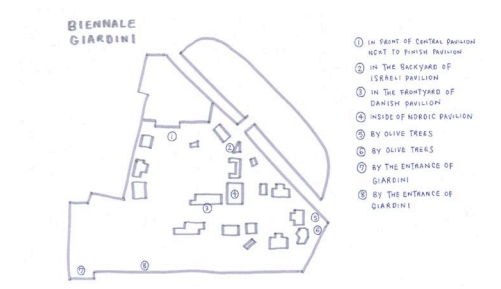
**有機的な普及・拡大** 自然農法の哲学と粘土団子をイ  
 ンスピレーションに、ドルマに使われる食材となる植物  
 の種子を、市場や道端、庭、台所で採取し、共同住宅の  
 コンポストと都市園芸家からの土壌を用いて粘土団子  
 を作成。ビエンナーレの開幕する6月初頭にヴェネチア  
 を歩き廻り、食材である植物(オリーブ、イラクサなど)の  
 自生する場所やイラン、トルコ、ノルディック・パヴィリ  
 オンなどプロジェクトに縁のある地にこの粘土団子を拡散。  
 ビエンナーレの開幕する秋に収穫される食材が、「次」  
 に人々の交わる機会に利用されるよう願いながら。

粘土団子に収められた種子はアートと農業を手掛ける  
 グループKultivator(オランダ/スウェーデン)と活動家  
 Stu Wright(南アフリカ)のコラボレーションである、簡易  
 な構造を用いて作る土製レンガの中にも挿入し、パヴィ  
 リオンの庭にも設置。

**知恵の共有** ヴェネチアの風景の中で食材収穫可能  
 な地点を記した地図を作成し、ネット上およびパヴィリ  
 オンのあるSerra dei Giardiniにて共有。関わった人々との  
 つながり、ドルマの食材、プロジェクトの思想や流れ、今  
 後の展望など、このプロジェクトのエコロジーをSerra dei  
 Giardiniの温室の窓に描いたダイアグラムやドローイン  
 グで紹介。



(left page) drawing on a window is a sort of performance;  
 my hand-drawn maps spot where seedballs dispersed in  
 Venice; window drawing presents the ecology in the project  
 (right page, from top to bottom) seeds collected according  
 to the ingredients of the dolmas; seedballs; my project  
 interwove three projects by other participating creators; the  
 seeds sprouted and grew during the summer of biennial.



*Seeds of Circle*

2014年  
 関係性と持続性のある、過程(プロセス)と行動(アクト)を主としたプロジェクト  
 イタリア・ヴェネチア(第14回建築ビエンナーレ)